

住民の課題解決のため 自ら率先して動く

伊興本町で生まれ、現在も暮らす「伊興っ子」。祖父母や両親も町会に積極的に参加しており、それが当たり前前の環境で育ってきた。子どもの頃は、町会単独で運動会をするほど賑やかだったという。父親が長く町会の役員や副会長を務めていた影響もあり、役員になったのは52歳の頃。会長になったのは63歳だった。町会内で60代はまだ若手。新しい発想で積極的に動く会長であることを期待されており、自身でもそういう姿勢で取り組んできた。

住民同士のコミュニティの場として、毎月2回、3か所の公園清掃を実施。第3土日の朝8時から行っている。5年前に始めた頃は数名だった参加者も、現在では平均50名、多い時は80名程。清掃時間が「10分間」というのもポイントだ。負担にならず、リピーターにつながり

地域の仲間とつながり 共に楽しみながら

「会長は、見て見ぬふりをしない人のことだと思うよ」と軽やかに語る。見ないふりをしたくなる「困りごと」をひとつひとつ突破していく力になったのは、「人とのつながり。仲間と一緒に取り組む。大変なことももちろんある。でも、やるなら徹底的に楽しみたい」という。生まれも育ちも浅草。父親が創業した自動車修理会社を継いだタイミングで足立区に転入。30歳だった。町会入会と同時に役員になった。仕事の関係で縁があった人に「誘われた」からだ。「ご縁は大事にしたいからね」と笑う。

さらに、子どもが通う小中学校のPTAの役員を歴任。東伊興小学校、第十四中学校のPTA会長もそれぞれ務めた。退任後も、青少年委員として子どもたちのために尽力。59歳で町会の会長になるまで続けた。前会長からの指名だった。



た。参加賞はジュース、さらに子どもにはお菓子もプラス。参加がきっかけで町会に入会する人もいる。河内会長は皆勤だ。毎回、声をかけていく中で顔見知りになり、身の上話を聞くこともある。相談を受けた町会員の課題解決のため区役所に同行することも多い。おかげで様々な部署に知り合いができた。

会長になってからもスタンスは変わらない。「できない理由は、いくらでも浮かんでくるよね。でも、できる方法を探そう。新しく始めてみたいとかさ」。例えば、平成8年から始めた落語会。行事で季節の移ろいを楽しむ浅草っ子の血が騒ぎ企画した。町会の枠を越え、近隣の有志で春と秋の2回、伊興寺町のお寺での開催を続けている。平成18年からは2か所に増え、夏と冬も開催。毎回盛況だ。「入ってみれば楽しさが分かる」という町会・自治会。「思うね、入って確かめてみたら？ ってさ」。

会長に訊け!



昭和30年生まれ、67歳。好きな言葉は「明けぬ夜はない」。例え辛い時でも「楽しいことに目を向ける」。オフの時間を過ごす姿勢も、会社経営や会長職と同じだ。一人旅をはじめ、学生時代から好きな落語や歌舞伎鑑賞、博物館に足を運んだり、お酒を飲むのも好き。いつも「徹底的に」楽しんでいる。

伊興町自連 副会長、伊興東町会長
吉川 輝雄 Yoshikawa Teruo

伊興町自連 会計、伊興北根町会長
河内 勝利 Kawauchi Katsutoshi

昭和29年生まれ、68歳。好きな言葉は「時間は資源」。自分の時間はもちろん、誰かの時間も無駄にしたいくないため、遅刻は厳禁だ。もちろん、空いている時間も有効活用。畑仕事や草むしり、雨の日は本を読むようにしている。「自分の時間は自分でコントロールできるはず。何事もきちんとやりたい」

町会・自治会に加入する 3ステップ

※ 自分のエリアの町会・自治会員をご存知の方は直接お申込みください。
(都営・区営住宅は入居時にご案内します)

1 加入方法がわからない方は
下記の方法でお申込み

● ネットで 足立区公式サイトへ



上記QRコードを
読みとってください

ページ内の
加入申込み
専用フォーム
に入力

● 郵送・ファクスで 住所、氏名、電話番号を明記し送付

郵送 〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
地域調整課地域調整係宛て
ファクス 03-3880-5603
問合せ 足立区地域調整課 TEL 03-3880-5864

2 該当の町会・自治会から
連絡が来ます

3 加入!



ようこそ!
地域の団結で
安心を!





池田良江会長推薦!

ウチの役員、ココが凄い!

4 伊興四丁目住宅自治会 中島とし子さん(90歳)



伊興町本町第2アパート建築後、最初に入居して35年。役員を歴任し会長も務めた。女性の会長は中島さんが初。現在まで女性の会長が続ききっかけになった。毎朝、アパートから伊興小学校までゴミ拾いをするのが日課。周りの花壇など共有庭のお世話も欠かさない。採れたタケノコなどを使った料理を振る舞うこともある。集会室のトイレトペーパーホルダーも中島さんのお手製だ。

アパート内で困っている人がいれば一番に気が付き声をかけてくれる。池田会長が頼りにしている、自治会の「相談役」である。中島さんと一緒にいると、「歳を重ねることが楽しみになる」そうだ。

伊興エリアの おすすめ

都立舎人公園の魅力

2 伊興西町会 永田正三会長イチ押しスポット!

永田会長宅の目の前にあるため、「庭のように過ごす」という舎人公園。日課は季節の木々を眺めながらウォーキング。いつものコースは3周して7kmほど、2時間弱だ。桜の名所(大池の東屋からの桜がお気に入り)としても知られるが、おすすめは、最近できたネモフィラ花壇(写真)。売店前のテーブルから飲食しながら眺められる。初日の出は毎年「あさひの広場」から。富士山も見えるという。そして、日暮里・舎人ライナーの舎人〜舎人公園間で車窓から見える四季折々の公園の風景が「一押しどころか三押し!」。

舎人公園の情報はコチラ



interview

町会 入って良かった

海老沼新雄会長推薦!

20 東伊興町会 長谷川さんファミリー

東伊興町会に入ってから9年になる長谷川さんファミリー。きっかけは引っ越してきた時に近所で行われた町会主催のバーベキュー大会。輪投げなど子どもが遊べるコーナーもあり賑やかだった。通りがけると、その場にいた人が声をかけてくれたという。町会に入っていない人も大歓迎のイベントだった。そのイベントへの参加を機に町会に入会。子ども神輿もあるお祭りをはじめ、年間を通してイベントが多く、参加することで知り合いが増えた。入会から3年後には役員になり、現在も子ども会の代表などを務めている。町会の魅力は「近所に頼れる人が増えること。特に子育て中は安心ですね」。海老沼会長も「町会の子たちは孫みたいなもんですよ。この子たちが大人になってからも続くほど、長い付き合いになると思いますよ」と心強い。ちなみに長谷川さんは、町会に入ってから「残念だったこと」は「全く無い」そうだ。

長谷川さんファミリー(父、母、小学生の兄妹3人の5人家族)



私が会長だった頃

取材:小池英夫会長

6 伊興中央町会 元会長(平成6~9年)堀之内輝雄さん(90歳)

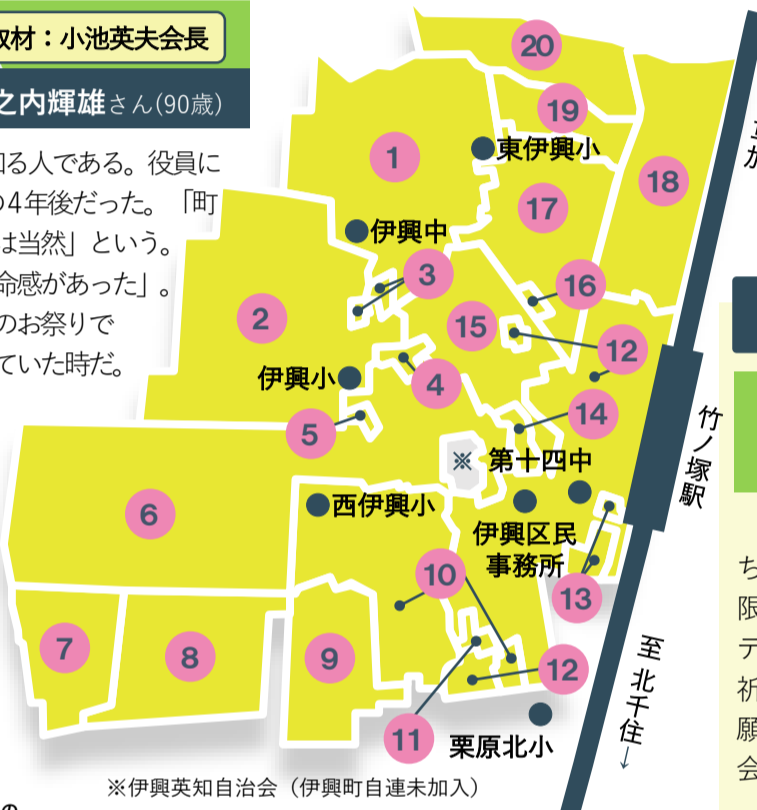
伊興中央町会の設立は55年前。堀之内さんは当時を知る人である。役員になったのは昭和50年。伊興町自連が発足したのは、その4年後だった。「町会に入るのが当たり前の時代だった。地域で助け合うのは当然」という。会長職は「生まれ育った地域に恩返ししたいという使命感があった」。ネガティブなエピソードは出てこない。若宮八幡神社でのお祭りで子ども神輿と花車を始めたのも堀之内さんが会長を務めていた時代。町会での出来事は「すべてが楽しかった」と振り返る。

園芸店経営の傍ら、若宮八幡神社の総代、JA東京スマイルの代表理事組合長を務めてきた重鎮。当紙については「大変なことを始めたね。でも、

いいね」と一言。どっしりと構えた姿勢、穏やかながらも冷静な空気をたたえる声に身が引き締まる。大先輩からの心強いエールに背を押していただいた。(令和5年1月31日取材)



※堀之内輝雄様は、令和5年2月8日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。当記事はご家族のご厚意により掲載させていただきました。



※伊興英知自治会(伊興町自連未加入)

ウェルカム、8 西新井四丁目諏訪木町会!

小口武男会長、歓迎!

会員同士の交流を大切にしているという「西新井四丁目諏訪木町会」。人気のイベントは「はなまつり」。諏訪木第二公園でのお花見だ。小口会長は「飛び入り大歓迎!」と笑顔。過去には町会の子どもたちを連れ、ハゼ釣りに出かけたことも。今年は舎人公園でのバーベキューも企画中。こうした機会を大切にしているのも、いざという時の力になると考えているから。その「いざ」に備えて、防災訓練も定期的実施している。写真は、今年4月に諏訪木第三公園で実施した時の様子。町会で所有する可動式のポンプは貯水槽とつながることができる。訓練は秋にも実施予定。「いざという時に近隣で助け合える関係でいたいですね」。



9 西新井第三団地自治会 ヒストリー

平井利治会長が振り返る!

西新井第三団地の歴史は「自治会花壇」と共にあると言っても過言ではない。

昭和39年(1964年)団地建築後、入居と同時に発足した自治会活動は今年度で59年目。足立区の花いっぱいコンクール(※)へは昭和43年度の第13回から55回参加している。その間、最優秀賞19回、特別賞16回、優秀賞7回、その他の賞12回という成績。長年の活動を評価され、昨年度は区制90周年記念の特別表彰も受けた。花壇整備は住民同士のコミュニティの場でもあるという。大切に積み重ねてきた関係を誇るように、3,488㎡の広大な公園内に3,000球のチューリップをはじめ、季節の草花が見事に広がっている。



※美しいまちづくりや防犯、地域コミュニティ活性化の取り組みとして、区内の団体等が育成した花壇等を評価するコンクール

HOT NEWS

菊地秀夫会長も参加!

3年ぶりの開催! 町自連研修会 16 伊興町前沼アパート自治会

約3年ぶりに開催した「伊興町自連研修会」。コロナが落ち着いた時期とはいえ、参加は各町会・自治会から1名限定。目指すは、鉄道博物館。開業150年となる鉄道システムの変遷や時代背景、産業史について学んだ。コロナ除け祈願として、鹿沼市の古峯神社(写真)と栃木市の出流山満願寺を訪ねたのも大変好評だった。菊地会長いわく、「町会・自治会間の情報交換もでき、有意義なひとときでした」。



町自連研修会

令和4年12月9日(金) 10:30 古峯神社(栃木県鹿沼市) 12:20 昼食、出流山満願寺(栃木市) 15:40 鉄道博物館(埼玉県さいたま市)



十四中美術部とコラボ 倉庫に空飛ぶクジラ!



豊田紀雄会長が企画!

12 伊興町自治会

伊興町自治会の防災倉庫がアート作品に! 手がけたのは、倉庫のお隣にある第十四中学校の美術部の皆さん。自治会名は鈴木柚衣さん(栗原北小在学時)の書による。演劇に50年、アートに40年関わってきた豊田会長ならではの発案だ。「コロナ禍で失われてしまった子どもたちの表現の場にしてほしかった」と語る。令和3年に空飛ぶクジラが描かれ、令和4年にはウミガメやチンアナゴも加わった。立ち止まって見入る人も多く、注目のスポットになっている。



- 1 伊興北町会 3 伊興五丁目アパート自治会 5 伊興二丁目自治会 7 西新井四丁目自治会 10 伊興南町会 11 伊興町アパート自治会 13 伊興町第2アパート自治会 14 伊興三丁目アパート自治会 15 伊興仲町会 17 伊興北根町会 18 伊興東町会 19 狭間町会